

全国支部長各位

前略

マスク着用についての基本的な留意点を下記記します。

各支部の稽古時において十分掌握のうえ、励行下さい。

宜しくお願い致します。

草々

2022年6月11日

極真会館医事委員会

1,平素の生活に於いては、従来通り手指消毒等の感染防止策を講じる

2,平素の体調管理に努め、感冒用症状、特に平熱を超える発熱の場合は人との接触を避ける

3,屋外では、会話をしない場合や人との距離が十分(2m程度が推奨されている)取れる場合はマスクの必要はなし

以下は、上記1~3を留意した上で、屋内に於いての感染防止対策思案となり、順を追って緩和されます

4,屋内に於いては十分な換気が取れ、会話なく、十分な距離が保てればマスクの必要なし

5,屋内に於いて会話なく、十分な距離が保てればマスクの必要なし

6,屋内に於いて、気温、湿度、体感覚で不快な環境下であればマスクの必要なし

7,屋内の活動下に於いて、マスクをする事で生命の危機に及ぶ危険性が考えられる際は如何なる場合であってもマスクの装着は推奨されない。(特に口呼吸傾向の強い、小学校未就学児や永久歯列に全移行していない児童)

8,現在、日々アップデートされている政府発表と、各自治体での感染環境や対応能力の違いに注意を払い、それぞれが活動する管轄下の自治体発表を随時確認し、各指導者が上記を踏まえ適時判断する

9,マスクは全ての場合で装着しなければならないものではなく、必要に応じ、時に応じ、場に応じ、着脱を考え、適切に指示を出す事が肝要である。